

ごあいさつ

維新を経て明治・大正・昭和と移り変わる中で、日本は日清戦争、日露戦争など世界で繰り広げられる戦争の波に飲まれていきました。世界大戦と呼ばれた戦争でも多くの方が亡くなり、今もその爪あとに苦しむ方達がいいます。

戦時中、傷病者たちには衛生兵だけでなく、日本赤十字社の救護員たちも救護にあたりました。第2次大戦では戦局が広がる中、日本赤十字社での活動は戦時救護が中心となり、そのさなかに命を落とした救護員たちも、少なくありませんでした。

日本赤十字社の初代社長である佐野常民は、人道的組織が世界に広まることが本当の文明開化と考え、博愛の心を胸に赤十字事業に力を注ぎました。西南戦争の折に救護団体をつくるために奔走し、日本赤十字社として新たなスタートを切ってからは、より一層社業の発展に力を尽くしました。

戦後から75年。戦争を知る世代が少なくなる中、その歴史の風化が懸念されています。当館では今一度、赤十字の活動について立ち返り、その理念と、佐野が大切にしたい「博愛」「人道」の心を発信するため、「戦争」「戦時救護」というキーワードから企画展を開催します。

展示資料一覧

※順不同

No.	資料名	No.	資料名	No.	資料名
1	清国事件二付救護関係	26	日露戦争従軍看護婦写真	51	鹿兒島新報 田原坂激戦之圖
2	看護婦生徒修身教授参考書	27	軍事および赤十字看護婦写真	52	日本赤十字社救護員扶助及弔意規則
3	日本赤十字社看護人教科書	28	報國恤兵一赤十字事業一	53	ミニエー銃
4	日本赤十字社患者輸送縦列規則	29	明治二十七八年戦役 日本赤十字社救護報告	54	救護員教育資料
5	演習派出員心得書	30	明治三十七八年戦役 救護報告	55	日本赤十字社大阪支部病院アルバム
6	日本赤十字社患者輸送船弘済丸患者輸送演習方法書	31	赤十字章	56	マッチ箱
7	乙號 日本赤十字社戦時救護規則	32	ギリシャ赤十字バッグ	57	佐野常民演説(複製)
8	明治三十三年北清事件日赤派遣救護員表	33	日本赤十字社救護員記章類	58	田原坂/戦斗(複製)
9	卒業看護婦二対シ佐野社長之諭告	34	赤十字アーポスター①	59	赤十字アーポスター②(複製)
10	救護用カンテラ	35	戦時召集令状(赤紙)	60	博愛社社員江原益蔵への任命書及び嘉彰親王よりの感状(複製)
11	日清戦争写真帳(2冊)	36	日本赤十字社従軍看護婦出征記念写真	61	博愛社救護所之図(複製)
12	日本赤十字社戦時陸軍傷病者救護準備総覧表	37	明治二十七八年之役 日本赤十字社救護概況報告	62	明治二十七八戦役 勅諭(複製)
13	聖戦美術(一部パネル展示)	38	日本赤十字関係絵葉書	63	奥アキ氏 ナイチンゲール記事
14	秘 日本赤十字社海軍戦時救護準備案	39	明治三十七八年戦役救護記念メダル	64	旅順口激戦之図(画像パネル)
15	救護方法に関する御意見出 投	40	日本赤十字社従軍看護婦出征記念レリーフ	65	日清海戦之図(画像パネル)
16	日清戦役救護に関する参考意見書	41	明治三十七八年戦役赤十字救護記念絵葉書	66	戦時関係写真(画像パネル)
17	婦人と赤十字	42	日支事変日本赤十字社救護班救護実況絵葉書		
18	戦時患者輸送船二関スル建議	43	赤十字絵葉書		
19	患者輸送勤務演習中看護人伍長以下船内心得	44	石版画絵葉書 日露戦争救護記念		
20	佛國・伊國戦時準備/現況	45	シベリア出兵救護記念絵葉書		
21	提灯	46	赤十字思想誕生百年記念封筒		
22	日本赤十字社戦時救護員服制	47	日本赤十字社則		
23	佐野社長の看護婦生徒入學之節諭告ノ要旨	48	日本の赤十字		
24	日露戦争日本赤十字野戦病院負傷者救療の圖	49	看護婦制服		
25	明治三十七八年戦役日本赤十字社救護記念写真帳	50	明治赤十字写真帳		

1~23: 日本赤十字社佐賀県支部所蔵(寄託先: 佐野常民記念館)

64~66の画像はパブリック・ドメインに属する

24~56: 館蔵

赤字...10月20日より展示

57~62: 複製 原資料: 日本赤十字社所蔵、60: 個人蔵

63: 個人蔵(寄託先: 佐野常民記念館)

戦争と 戦時救護



赤十字思想誕生百年記念封筒(館蔵)

— 未来につなぐ博愛の心 —

令和2年 8月1日(土) ▶ 12月20日(日)

期間中展示替えあり(10月15日~10月19日の間展示作業)

場所 佐賀市佐野常民記念館 佐賀市川副町大字早津江津446-1
TEL: 0952-34-9455

開催時間 9:00~17:00 観覧料 大人 300円 小・中・高校生 100円

休館日 毎週月曜日(祝日の場合翌日) 臨時開館 8月3日(月)、11日(火)、17日(月)

主催/佐賀市佐野常民記念館 共催/佐野常民顕彰会
後援/日本赤十字社 佐賀県支部・朝日新聞社・毎日新聞社・佐賀新聞社・西日本新聞社・読売新聞西部本社・エフエム佐賀
NBCラジオ佐賀・ぶんぶんテレビ・サガテレビ(順不同)

リサイクル選性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

日本赤十字社の救護員たち — 戦時救護活動 —

日本赤十字社の前身である博愛社は、西南戦争をきっかけに誕生。赤十字の理念に則り、戦争時には敵味方の別なく負傷者救護を行いました。

明治23年から始まった看護婦養成においては、看護婦としてのあるべき姿、規律といった点にも重きを置いて進められ、彼らの活躍は世界からも注目を集めたといわれています。



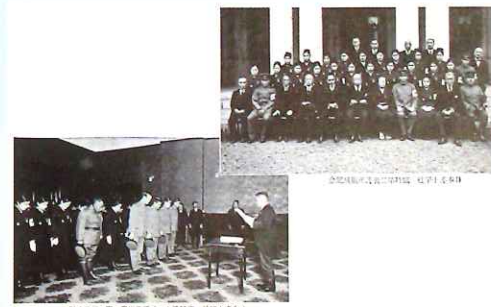
日露戦争大日本赤十字野戦病院負傷者治療の圖 (館蔵)



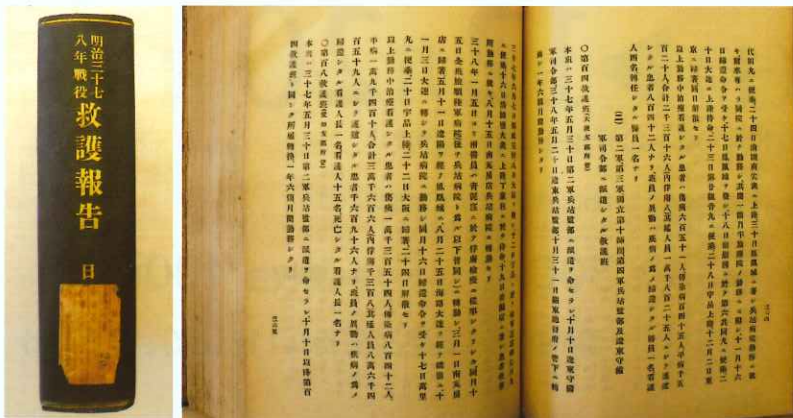
日本赤十字社看護婦制服 (館蔵)



赤十字絵葉書 (館蔵) 上:シベリア出兵 下:日支事変



支那赤十字社看護婦 (1911年)



明治三十七八年戦役 救護報告 (館蔵)



明治三十七八年戦役救護記念メダル (館蔵)



救護用カンテラ
日本赤十字社佐賀県支部蔵
(寄託先:佐野常民記念館)



赤十字章 (館蔵)

○救護員派遣 (一部紹介)

西南戦争～上海事変・・・9022人
日中戦争・太平洋戦争
救護班・・・960班、3万人以上
殉職職員・・・1000人以上
全体的な救護員数 (日赤以外含む) 詳細は不明な部分もあり

○扱った患者数

※百年のあゆみ (日赤佐賀県支部発行) より抜粋

西南戦争・・・1049人
日清戦争・・・10万1675人
北清事変・・・12万7542人
日露戦争・・・732万6356人
日独戦争・・・2万4666人
露国派遣・・・4万3531人
仏国派遣・・・5万4832人
英国派遣・・・2万3407人
シベリア事変・・・605万987人
サガレン派遣・・・15万1996人
濟南事変・・・1万9715人
満州事変・上海事変・・・45万5016人
日中戦争・太平洋戦争・・・正確な数は不明

つなぐ

日本は明治以降、日清、日露戦争を経験。第2次大戦では戦況が苦しくなる中で、特攻という形で家族や国を守るために戦場へ赴いた兵士たちの姿もありました。

日本は今年、戦後から75年を迎え当時の様子を知る人、戦争体験者が減っていく中で、戦争という歴史の風化が懸念されています。



日清戦争写真帳より一旅順ノ西方方家屯附近ニ於テ山砲中隊砲撃ノ光景一
日本赤十字社佐賀県支部蔵 (寄託先:佐野常民記念館)



ギリシャ赤十字バッグ (館蔵)



戦時招集令状 (館蔵)

世界大戦

第一次世界大戦 (1914~1918)

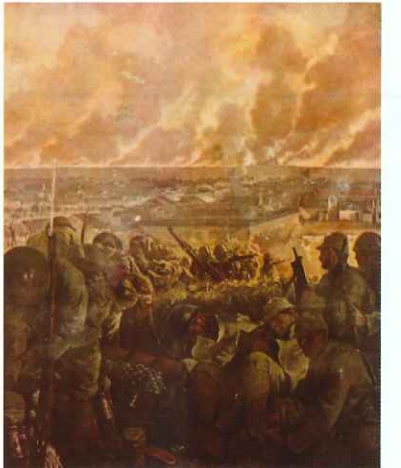
連合王国と中央同盟国との闘いであり、現在に当ってはめると50ヶ国以上を巻き込んでの規模となった。また、歴史上初の総力戦とも言われ、戦車や飛行機等の新兵器が投入されるなど、これまでの戦争のあり方を大きく変えるきっかけとなった。

第二次世界大戦 (1939~1945)

基本的には枢軸国と連合国との闘いで、ドイツのポーランド侵攻から日本の敗戦までとしている。ヨーロッパ、東アジアを中心に戦火は広がり、犠牲者は軍人・民間人を合わせて数千万人といわれる。戦後は各地で多くの難民を生むこととなった。



『聖戦美術』より 向井潤吉筆
一福山機の壮絶なる勇姿一
日本赤十字社佐賀県支部蔵
(寄託先:佐野常民記念館)



『聖戦美術』より 小磯良平筆
一南京中華門の戦闘一
日本赤十字社佐賀県支部蔵
(寄託先:佐野常民記念館)



東京空襲後の牛込市ヶ谷付近
正確な出典は不明
1953年8月15日発行の「東京大空襲秘録写真集」(雄鶏社刊)に掲載
撮影時期:1945年3月10日頃
(画像はパブリック・ドメインに属する)



『せいたくは敵だ』と書かれたポスター
出典:毎日新聞社「毎日ムック シリーズ
20世紀の記憶 大日本帝国の戦争2」より
(画像はパブリック・ドメインに属する)



『聖戦美術』より 齋藤久子筆
一慰問袋一
日本赤十字社佐賀県支部蔵
(寄託先:佐野常民記念館)